

令和3年度第2回総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和4年1月14日(金) 午後3時00分～午後4時20分
- 2 場 所 三島市役所中央町別館4階 第1会議室
- 3 出席者
(構成員)
豊岡市長、西島教育長、安藤委員、佐藤委員、草間委員、飯島委員

(説明者他)
鈴木教育推進部長、渡辺学習環境整備統括監、杉山教育総務課長、鈴木学校教育課長、
若林生涯学習課長、米山図書館長、芦川文化財課長、飯田企画戦略部長

(書記)
高梨教育総務課総務係長、大角教育総務課主査
- 4 傍聴人の数 1人(報道含む)
- 5 協議または報告に係る事項
 - (1) 三島市及び教育現場におけるDX推進と教育現場の取組みについて
 - (2) 放課後児童クラブの民間への運営移行による子どもの居場所の確保をサービス向上について
- 6 発言者及びその要旨
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
本日はお忙しい中、当会議にご出席賜りありがとうございます。「総合教育会議」は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成27年度から設置されたものです。今回も、活発な議論をしていただけたら幸いです。令和3年度第2回目の本会議は、「三島市及び教育現場におけるDX推進と、放課後児童クラブのサービス向上について」の2つをテーマといたしました。
昨今、DX：デジタルトランスフォーメーションという言葉が注目を集めています。これは、“進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへ変革すること”を意味しています。日々、多種多様なデジタル技術が進化を遂げている中、新型コロナウイルスの影響で、テレワークやリモート会議が普及し、教育分野においても、オンライン授業の実施など、私たちの周りにも急速にデジタルツールが浸透してきています。こうした社会の流れの中で、“人々の生活をより良いものへ変革す

る”ことを念頭に、三島市として教育と行政のDXをどのように進めていくかについて意見交換を行いたいと思います。

また、もう一つのテーマは、放課後児童クラブについてですが、子どもの減少が問題となる中で、核家族や共働き世帯の増加により、放課後児童クラブへの入所希望は年々増加しています。三島市は、待機児童解消を図るために、これまで学校の余裕教室の改修などにより、放課後児童クラブの増設や整備を進めて参りました。施設の拡充により、定員を増やすことはできますが、開所時間延長等のサービス向上が求められている現状において、支援員の確保が難しいことから、民間事業者への運営移行を検討しておりますので、皆様と意見交換を行いたいと思います。委員の皆様方には、忌憚ないご意見を賜りますようお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

(3) 議題1

三島市及び教育現場におけるDX推進と教育現場の取組みについて

(豊岡市長)

豊岡市長から、以下の項目に関する説明があった。

- 【自治体がDXに取り組む背景】
- 【三島市スマート市役所宣言】
- 【三島市が進める3つのデジタルファースト戦略】
- 【国のデジタル化の司令塔『デジタル庁』発足】
- 【デジタル田園都市国家構想】
- 【地方自治体のデジタル化を国が支援】
- 【三島市DX推進の基本方針重点テーマ(10項目)】
- 【三島市スマート推進協議会の設立】

(安藤委員)

スマート市役所宣言、とても楽しみ。iPadの活用はハード面、精神面両方の教育が必要であり、GIGAスクール構想を早めにしたことで、その対策や取り組みが早くできていてよかった。機械のメリットも手作業のメリットもそれぞれの特性があり、どちらもよいものといえる。両面での指導を進めていただきたい。

(飯島委員)

DX推進はあらゆる業界で進められている。DXを進めることにより、これまでの事務が変わることで逆に負担になったりすることがある。今やっていることが楽になるようなことを提供しながら進めてもらえればよいと思う。

今の子どもたちにアプリやSNSの使い方を教えられるのは、自分たちよりももっと若い世代の人だと思う。三島には、日大や順天堂など学生がいるので、正しい使い方を教

えてもらえるといい。また、山田中など、生徒が自ら考えて行動していることが素晴らしい。

学校で導入しているアプリは、どうやって選定されているのか。

(鈴木学校教育課長)

各校の GIGA スクール推進委員や、教員がこのアプリを使ってみたいなど、いろいろな情報共有をしながら決めている。

(豊岡市長)

これからはデジタル教科書の時代になっていく。

(西島教育長)

来年は実証実験として、英語のデジタル教科書が小学校5、6年生、中学校1～3年生に配付される予定。

(草間委員)

デジタル化が進んでいることを感じる。デジタル化のメリットはたくさんあるが、小さな子どもたちが、何も知らないままタブレットの世界へ入ってしまうことを危惧している。やはり人と人との関わり、コミュニケーションなど、先生方も大変だとは思いますが、丁寧に指導しながらデジタル化を進めていただきたい。遠方の学校との交流もオンラインで実施するのもとても良いことだと思う。

(鈴木学校教育課長)

これまでの学校教育の積み重ねとデジタルツールのベストミックスを実現することが大切だと考えている。

(佐藤委員)

デジタル化へのビジョンが明確ですばらしい。世の中も、紙の通帳が有料になるなど、デジタル化への道が必然である。デジタル人材育成の指導を応援している。

(豊岡市長)

ありがとうございました。

DX とは、ICT 機器を導入することではなく、デジタル化した環境で考え対応していく力を育むことが重要だと思います。委員の皆様にも今後ともご指導いただけましたら幸いです。

(4) 議題2

放課後児童クラブの民間への運営移行による子どもの居場所の確保をサービス向上について

(杉山教育総務課長)

【放課後児童クラブの現状】

【近隣市町との比較】

【アンケート調査結果】

【放課後児童クラブが今後目指すべき方向性と課題】

【民間事業者への委託により期待される効果】

【指定管理者制度導入により業務内容の予定】

【参考 夏休み臨時児童クラブの民間委託施行について】

【使用料についての考え方】

【今後のスケジュール】

(飯島委員)

今年はコロナで学校が休校になったり、クラブが臨時休所となったことがあった。民間委託した場合にも、学校と情報を共有し、学校が休校になった時もしっかりと連携が取れるようお願いしたい。

(豊岡市長)

ありがとうございました。子どもの安全と居場所の確保を最優先にしながら、核家族化や共働き世帯の増加など、様々な社会構成の変化によって、多様に変化する保護者のニーズをいかに拾い上げるかが重要だと感じます。委員の皆様におかれましても、お気づきの点がございましたら、今後ともご指導いただけますと幸いです。

(5) 閉会

(豊岡市長)

以上をもちまして、令和3年度第2回総合教育会議を閉会します。活発な議論をいただき、ありがとうございました。